

## 会 議 録

|        |  |
|--------|--|
| 会議の名称  | 平成29年度第4回茨木市産業振興アクションプラン推進委員会<br>補助金審査部会   |
| 開催日時   | 平成29年9月28日(木)<br>(午前・ <b>午後</b> ) 2時00分 開会<br>(午前・ <b>午後</b> ) 3時00分 閉会  |
| 開催場所   | 茨木市役所 南館3階 防災会議室   |
| 議長     | 野口 義文 氏 (立命館大学産学官連携戦略本部)   |
| 出席者    | 野口義文氏 (立命館大学 産学官連携戦略本部)、小牧義昭氏 (北おお<br>さか信用金庫 総務部)、辻田素子氏 (龍谷大学 経済学部)、山田理香氏<br>(公募市民)<br><br><span style="float: right;">【4人】</span>                                     |
| 欠席者    | 伊津田崇氏 (中小企業診断士)  |
| 事務局職員  | 徳永商工労政課長、武部商工労政課商工振興係長、<br>浦商工労政課職員 <span style="float: right;">【3人】</span>  |
| 開催形態   | 一部非公開  |
| 議題(案件) | (1) 茨木市産業活性化プロジェクト促進事業補助金趣旨説明<br>(2) 会議の公開について<br>(3) 応募団体プレゼンテーション及び審査  |
| 配布資料   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 茨木市産業活性化プロジェクト促進事業補助金募集要領</li> <li>・資料2 茨木市産業活性化プロジェクト促進事業補助金の選考について</li> <li>・資料3 茨木市産業活性化プロジェクト促進事業 審査基準及び配点表</li> </ul> |

## 議事の経過

### 1 開会

事務局：(開会のあいさつ)

### 2 会議の公開について

事務局：初回の会議にて決定したとおり、下のとおりとする。なお、今回の傍聴希望者はなし。

#### ①本部会について

原則公開とし、市民等の傍聴を認める。ただし、申請案件の審査に関する部分は、非公開とする。(※茨木市審議会等の会議の公開に関する指針第3より)

#### ②議事録について

公開部分については、市のホームページ等で公開する。ただし、内容は要約したものとし、個々の名前は記載しない。委員名簿は公開する。

### 3 趣旨説明

事務局：(資料1、資料2、資料3説明)

### 4 応募団体プレゼンテーション及び審査

#### (1) 産業活性化プロジェクト促進事業申請案件：

英会話カフェ&スクール プチプラネット(以下申請者)から、事業概要及びアピールポイントについてプレゼンテーションがあった。

#### <質疑応答>

A委員：申請事業「ゆうカフェ」の現在の営業日時と席数は。

申請者：毎月第2・4水曜日の午後7時から9時までで、英会話スクールと並行して開催している。席数は決まっていないが、30人くらいは入ることができる。

A委員：スクールと同じ場所で実施しているとの事だが、この物件は賃貸か。また、「ゆうカフェ」について収支はとれているか。

申請者：物件は賃貸。「ゆうカフェ」は参加費を取っておらず、飲食代のみ実費分をいただいている。

B委員：「ゆうカフェ」で茨木市内店舗の商品(食品)を紹介しているということだが、紹介する商品は、店舗側から希望があったものなのか、または主催者側で選んだものか。

申請者：他の交流会に参加した際に店主と出会い、そのときの話で紹介させていただくこととなった。

B委員：「ゆうカフェ」のPRはどのように行っているか。

申請者：今のところ特に目立った取り組みはしていないが、スタッフは外国人で、20か国語に対応することができるのが強み。英語を学びたい人はたくさんいるので、需要は多い。

C委員：説明に出てきた豆腐とお酒のほかに紹介している商品はあるか。2件だけである

と、利益がその店舗に限定され、公益性に欠けるのでは。

申請者：今のところはないが、他も検討中であり、今後拡大していきたい。

C委員：紹介した商品は、これまでの「ゆうカフェ」でどのくらい売り上げがあったか。

申請者：豆腐で1回につき3～5千円程度。主催者が事前に仕入れて提供している。

C委員：スタッフに河原町から茨木市までの交通費を支給するということだが、河原町から来てもらうのは何か理由があるか。

申請者：河原町に住んでいる外国人の方を雇う予定であるため。茨木市内に条件に合う方がいれば、今後検討することは可能。

D委員：現在は夜に開催されているが、色々な方に参加してもらうためには、昼の開催も検討してはどうか。

申請者：他の時間帯も需要があると思うが、英会話スクールとの兼ね合いもあり、今のところ昼の時間帯の開催は難しい。

B委員：交流会の中で人と人をつなげることによって、新しいものが生まれたり、新たな取組みが始まれば良いと思うが、現在そういった具体的な動きはあるか。

申請者：現在は参加者同士のPRが中心である。

B委員：「ゆうカフェ」には月どのくらいの人数が参加しているか。

申請者：延べ40人程度。リピーターと新規の参加者はおおむね半数ずつである。

B委員：スクールを始めて7年目ということだが、10～15年後には、どういう姿でありたいと考えているか。

申請者：多店舗展開は考えておらず、今の広い教室が常に埋まっている状態が理想。日本人が、もっと怖がらずに英語を話すようになってもらいたい。また、私たちが考える「次なる茨木」の姿の一つとして、「人が集まるまち」にしたいという思いがある。プチプラネットは20か国語を扱う珍しい教室で、他市からも受講生がいるので、そういった面でも市に貢献できればと考えている。

## 【 審 査 】

### 5 審査結果

(1) 英会話カフェ&スクール プチプラネット      400点中280点 ⇒ 採択案件

#### <選考基準>

出席委員の評価点合計の65%以上を取得した事業を、採択案件の候補とする。

ただし、上記基準を上回る事業であっても、個人の総得点の1/2(100点÷2=50点)

以下の点数を付けた委員がいる場合は、協議のうえ採択候補案件を決定する。

以上